

# タウントピックス

KASAI データバンク 人口／48,774（-40）世帯数／17,000（+4）  
H21.9.30 現在（前月比）男／23,718（-18）女／25,056（-22）  
9月の出生数／19人 死亡数／42人



▲高橋さん（着席の右から2人目）を囲み記念撮影。右は寄贈されたワゴン車

## 志方勝哉さん 平成21年度「若人の賞」を受賞

優れた活動を行い、社会に貢献した30歳以下の青少年に贈られる「若人の賞」を、青年連絡会「えんどれす」で活躍中の志方勝哉さん（24歳・朝妻町）が10月3日、兵庫県民会館での表彰式で、井戸兵庫県知事より受けました。県内の受賞は5名です。

志方君は、「えんどれす」の会長をはじめ、地域の青少年団体のリーダーとして優れた指導力を發揮し、ボランティア活動に積極的に取り組み、青少年の健全育成に尽力していることが評価されました。今後益々の活躍が期待される人材です。



▲井戸知事より表彰される志方さん



## 地域貢献を称え、県こうのとり賞を受賞

小野市で開催された「北播磨地域子育て応援ネット交流大会」において9月6日、岡本和美さん（北条町北条）が「兵庫県こうのとり賞」を受賞。加西市婦人共励会役員として、母子・寡婦家庭の健全育成、自立促進に尽力し、こころ豊かな美しい兵庫の実現に貢献されました。

こうのとり賞は、地域社会において実践活動や住民活動を推進し、参画と協働による美しい地域づくりに貢献された方に贈られます。

▲県こうのとり賞を受賞された岡本さん

## 国道の早期整備を求める要望書を受理

国道372号整備早期事業化促進会議の下里地区代表区長の岩田勝さんと九会地区代表区長の松尾三代治さんらが9月25日、市役所を訪れ、国道372号の早期の整備実現に向けた要望書を中川市長に手渡されました。

要望書は、「加西市以外の周辺市町の372号は整備されている。市の南部を東西に縦貫する同国道は、沿線11校園の通園・通学路として利用されているが、道路幅員が狭小で歩道も無いところもあり、園児や児童らが危険にさらされている。市の経済・文化の発展と市民の安全安心のため、早期の整備実現を」とされています。

要望書を受け、市では早期の整備実現に向け、国・県のほか関係機関への働きかけを行っていきます。



▲要望書には下里・九会両地区の各種団体役員216名の署名

## 国体出場選手らを招きスポーツ教室

国体の出場経験をもつ、加西市出身の陸上競技選手ら5名を招いたスポーツ教室が9月22日、北条東小学校で開催されました。

陸上競技への関心を高めようと、加西市陸上協議会が企画。参加した小中学生約150人は、日頃見ることの少ないやり投げやハンマー投げの模範演技を見学したり、選手に50m走や1000m走を挑んだほか、選手から直接指導も受け、フォームの観察や腕の振り方のコツを学ぶなど、貴重な体験をしました。



▲志方文典選手（西脇工業高校3年）と共に1000m走



▲ため池に入る参加者達

## ため池で雑魚取り大会

大村町の大池で10月3日、加古川西部土地改良区主催による雑魚取り大会が開催されました。晴天に恵まれ、約160名の参加者は泥だらけになりながら、網などで鯉や鮎などを獲りました。一番の大物は72cmの鯉でした。

市内では、10月24日（土）に東池（大工町）で、11月7日（土）には西ノ段池（鶴野上町）でも、ため池の雑魚採りイベントを開催予定。東池でのイベントでは、災害等の非常時用に飲料水として、ため池等の水を浄化する携帯型浄水装置のデモンストレーションも行われます。



▲なかよしイモに興味津々。そばで観察する子ども達

## 賀茂幼稚園に「なかよしイモ」

賀茂幼稚園（福住町）で、一風変わった形のおイモが展示されました。これは、同園職員の畠で採れたもので、数個のムラサキイモが抱き合うように重なり合い、直径30cm程度の大きさを成しています。子ども達は、その形から「なかよしイモ」と名付けました。

賀茂幼稚園では、食育に力を入れており、四季折々の食材を園児達が実際に手を取って触れるように展示。「なかよしイモ」も、近隣住民の方々から提供された、栗やトチノミ、みかん等と共に飾られました。



▲本場仕込みの餃子の作り方を伝授

## 餃子で日中交流

MORE地球家族（村上尚美代表）は、本場の餃子の作り方を教わろうと10月4日、市民会館の調理室で、市内在住の中国人女性4名を招いた交流会を開催しました。参加した44名の子供たちは、中国語を学ぶゲームで盛り上がった後、みんなで餃子の皮包みに挑戦し、水餃子を作りました。

本場仕込みの餃子はとても美味しい、子供たちは、作り方を教わった中国人女性たちに、覚えたての中国語で、自然と「好吃！（美味しい）。謝謝（ありがとう）」と気持ちを伝えました。



▲挨拶する中川市長

## 青年海外協力協会25周年記念式典で市長が来賓挨拶

社団法人・青年海外協力協会（東京都）が10月3日、日比谷公会堂（東京都）で開催した設立25周年記念式典で、約1,000人の参加者を前に、中川市長が全国首長を代表して来賓の挨拶をしました。

「今や加西市の人口の2%は外国人で、25カ国の人々が市内に居住しており、多文化共生のまちづくりを進めている。皆さんの海外経験・問題解決力・実行力・適応力などは、日本のため地域社会のために大いに役立てていただきたい。まちづくりや地域活性化の担い手となって活躍して下さい。」